

平成26年度 第16回国際資源学部執行部会議議事要旨

日 時：平成26年11月14日（金）13：30～15：27

場 所：国際資源学部会議室

出席者：佐藤学部長（議長）、宮本、安達、今井、柴山、藤井各委員

欠席者：なし

議事に先立ち、大川事務長から11月1日に学務系事務が一元化されたことに伴い、新たに国際資源学部担当となった事務職員の紹介があった。

議 事

1. 第15回執行部会議議事要旨の確認

第15回執行部会議の議事要旨が確認された。

2. 非常勤講師（教養基礎教育）任用計画の変更（H26年度）

安達教授から資料2に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

3. 平成27年度国際資源学部非常勤講師採用・講義実施計画について

学部長から、資料3に基づき説明があり、計画表を12月19日（金）までに事務へ提出することとなった。なお、学外非常勤講師の年齢制限については、70歳とすることが確認された。

また、宮本委員からドイツ語の非常勤講師を平成27年度も認めて欲しい旨提案があり、審議の結果、了承された。なお、今後は全学で検討していく案件である事が確認された。

4. 大学院国際資源学研究科設置WGについて

学部長から、大学院国際資源学研究科設置WGメンバーに今井教授、藤井教授を指名し、両教授を中心に書類を作成している旨報告があった。

5. 学校教育法等の改正に伴う対応（案）について

学部長から、資料5に基づき大学の方針について報告があった。

6. 手形地区教員との懇談会（第2クール）について

事務長から資料6により説明があり、人選については学部長と相談の上決定したい旨報告があった。

7. 鉱物学分野の教員採用について

今井コース長から資料7に基づき説明があり、審議の結果了承され、教育研究カOUNシルに諮ることとなった。

8. SATREPS 経費による特任助教の採用について

柴山コース長から資料8に基づき説明があり、審議の結果了承され、教育研究カウンスルに諮ることとなった。

9. NEDO プロジェクトによる「バイナリー式温泉発電所を対象としたメカニカルデスケーリング法の技術研究開発委員会」の設置について

柴山コース長から、資料9に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

10. 新規採用教員等（外国人教員含む。）の授業科目について

学部長から、資料10により説明があり、各コースにおいて担当授業科目を確認の上、修正がある場合は、事務部まで連絡されたい旨報告があった。

11. 教育系補佐員（ICREMER）の採用について

安達国際資源学教育研究センター長から資料11により説明があり、審議の結果、11月17日付けで採用することが承認された。

12. 任期付き教員の再任の審査について

学部長から資料12により説明があり、審議の結果、了承された。

続いて今井コース長から、資源地球科学コース所属の教員で3月に任期満了となる教員がいることから、再任審査手続きを進めたい旨提案があり了承された。

13. 平成26年度第7回教育研究評議会報告

学部長から、資料13により第7回教育研究評議会の報告があった。

14. その他

1) 山本作兵衛氏・原画寄贈について

中村博物館担当主査から、資料14に基づき山本作兵衛氏の原画寄贈について報告があった。

2) その他

①藤嶋総括主査から、席上配布資料に基づき出張の交通費に係る領収書類の提出について、再度所属教員に周知徹底してもらいたい旨依頼があった。

②宮本委員から、席上配布資料に基づき COLLEGE TOEIC の結果について報告があった。

③今井委員から、WFURS2015 について来年の9月13日～15日に開催することが決まった旨報告があった。また、ホスト大学の費用捻出はないことが会則に盛り込まれた旨併せて報告があった。

④学部長から、海外資源フィールドワークの担当窓口について、再度徹底されたい旨依頼があった。

以上